

鳥取県の現状と課題

令和3年度 鳥取県パートナー県政推進会議

日時：令和3年11月6日（土） 午後3時～5時
場所：（東部会場）災害対策本部室
（西部会場）西部総合事務所 災害対策室
（その他）オンライン参加

パートナー県政の推進

鳥取県民参画基本条例（平成25年制定）

県民の参加と協働による民主的で公正な

「県民が主役の県政」

の実現を目指し制定

県民



鳥取県

「県政は県民のパートナー・地域のパートナー」の理念を具体化するため
「パートナー県政推進会議」を開催

鳥取県の現状①

●全国に先駆けた地方創生の推進

人口の最も少ない県としての機動性を発揮し、全国に先駆けた子育て支援の充実や I J U ターンの促進、企業立地の推進や県産品のブランド化、海外からの誘客促進

⇒**新たな人の流れ・地域産業の創出、移住者や正規雇用者、外国人観光客の増加**を実現

●団塊の世代の高齢化に伴う超高齢社会

人手不足や後継者の確保、インフラの維持管理費や社会保障費の増加

⇒**より一層深刻化**していく可能性

●地域の持続的発展のために

人口減少・少子高齢化の状況下で、住み慣れた地域に安心して暮らし続け、豊かな自然や歴史・文化等の地域資源を活かしながら、鳥取県が将来にわたって発展するためには、**県内全ての市町村が活力を持ちながら持続**していくことが必要

鳥取県の現状②

●新型コロナウイルスの感染拡大による経済社会活動の影響

人の往来や活動が大きく制限され、インバウンドをはじめ 観光やスポーツ、飲食業などに深刻な影響

⇒引き続き**感染防止対策と経済社会活動の両立**へ

●新型コロナウイルスの感染拡大により生じた地方分散の流れ

都市部が感染症に対して脆弱ではないかとの意識が拡大、地方分散の流れが加速

⇒東京都が転出超過に転じるなどの**パラダイムシフト**

●とっとり創生による持続可能な地域社会の実現

新たな地方分散やデジタル化の流れを捉えつつ、地域に暮らす一人ひとりが幸せを感じ、活気あふれる地域の持続を目指し、**新たな課題に立ち向かい、鳥取発の地方創生を推進**

鳥取県の新たな課題①

<<ポストコロナ時代を見据えて>>

(1) 感染症に強い地域づくり

- ・新型コロナウイルスなどの新たな感染症に対応できる**強固な医療提供・保健体制の構築**
- ・医療機関、社会福祉施設などの**感染症の拡大防止に係る取組の充実**

(2) 人や企業の地方分散への対応

- ・大都市圏から地方への新たな人の流れを的確に捉えた**関係人口の更なる創出・拡大**
- ・ワーケーションなど関係人口を創出・拡大し、地域活性化を図るとともに**将来的なI J Uターンを促進**
- ・都市部テレワーカー等の関心を鳥取県へ向け、**ポストコロナの移住拡大**
- ・大都市圏企業の機能移転、拠点分散・国内回帰等の**多核分散型社会の流れを取り込む**

鳥取県の新たな課題②

<<ポストコロナ時代を見据えて>>

(3) DXへの対応

- ・デジタル・トランスフォーメーション (DX) による**イノベーション創出や生産性向上**
- ・「非接触」、「非対面」など、**ニューノーマルに対応したビジネス転換を促進**

(4) 脱炭素社会への対応

- ・**持続可能な森林経営と二酸化炭素の吸収源対策**
- ・豊かな自然環境を活かしたキャンプやサイクリングなどの**アウトドアツーリズムの推進**
- ・住宅や建物の高断熱化・省エネ性能の高い設備機器の導入など**脱炭素ライフスタイルへの転換**
- ・カーボンニュートラルの実現に向けた**脱炭素・次世代自動車等の県内企業参入や産業集積**